

# 第81回（平成28年度第4回）番組審議会議事録

1. 開催日時 : 平成28年11月21日(月) 午後4時00分～5時30分

2. 会 場 : 西宮市役所 443 会議室

3. 委員の出席 : 委員総数 : 7名  
出席委員数 : 7名  
放送事業者側出席者 代表取締役社長 : 1名  
営業・企画部長 : 1名

## 4. 議題

番組内容についての審議

「歴史と文化の散歩道」 毎週日曜 8:00-8:30

## 5. 議事概要

社長より審議をお願いする等の挨拶。事務局より委員総数7名中4名の出席で過半数出席、会は有効に成立している旨の報告(その後3名も揃い全員揃う)。まず「歴史と文化の散歩道(11/13放送分)」を聴取した後各委員から質問・意見、放送事業者側が説明・回答しながら進行。

## 6. 審議内容

委員長：お聴き頂いた番組について審議に入ります。お感じになった事を忌憚なく発言願いたい。

委員：600回も続いているのか？

事務局：2009年4月から1年間は休止しているが600回以上放送している。

委員：前田さんのしゃべり口調がはっきりしていて大変聴きやすい。今回ゲストの郷土資料館の女性も分かり易く聴き易かった。前田さんはお幾つになられたのか？

事務局：81歳になられたところです。

委員：声にも張りがあるしすごい。

社長：時々体調を崩されるので心配する時がある。

委員：聴いていてそんな風には感じない。前田さんの世界だ。

委員：最初からこの方が担当されているのか？郷土史家か？

社 長：元市役所の職員で主には教育委員会におられた。文化課長やスポーツ関係などもされていた。

委 員：地域のことなど幅広く活躍されていた。今でも前田さんのお名前をお聞きすることがある。

委員長：芸術の分野にも造詣が深い。私も 30 年位前から親しくさせて戴いている。

委 員：郷土資料館は聞き取り調査も沢山行っている筈。そういう生の声を収録していつて広がりを持たせていけないか？前田さんと担当者だけのトークで終わっている。今生きてる人に今収録しないと聞けなくなる話が沢山ある。折角なのでそういう「生の声」を入れて欲しい。そうすることで例えば CD 化した時にも値打ちが出る。手間は掛かるが惜しまずに西宮の貴重な生の声を残して欲しい。さくら FM だからこそ。

今日の話でも漁具の枡を貰ってきた先の方とか。前浜町にもう漁師は居ないと思うがそれでも 30~40 年前までは漁師がいた。

委 員：事前に打ち合わせをされると思う。それは 30 分でどんな話をするとかそういう流れを話すのか？

事務局：基本的には前田さんと先方と二人で進めている。

委 員：今度建築物の取材に行くのであればその神社の宮司さんなども大事だが、西宮に宮大工も何人か居る筈なのでそういう方の声も入れていくとか。歴史が今に生きていうか、今も残っているという部分を入れるともっと面白くなるのではないか？

社 長：少し弁解をするならば、岡も含めてじっくりと作品を作っている時間がない。ただ、「確かに」と思う部分もある。委員の皆さんにも現状を理解して戴きながら深みのある議論が出来ればと思う。

番組内にも出てきた FM ウォークが昨日あった。西宮北口に集まって高木から瓦林を通過して甲子園口までラジオを聴きながら歩く。スタジオには郷土資料館の合田館長がパーソナリティとやり取りしながらウォークの方には郷土資料館の学芸員が 4 人付いてポイントごとに解説を入れてくれる。3 時間ほどだったが初めて参加した。西宮のことは大体分かっているつもりだったが道端にある石碑とか知らないことが多くあった。40 人以上参加されていたが皆さん満足の様子で私も大変豊かな気持ちになれた。いい番組を作って市民の方々に聴いて戴かないと思った。

番組を制作していて前田さんとの裏話とかはないのか？

委 員：今回の郷土資料館で「屋内で」収録された物だが、現場で収録されるとまた違う雰囲気になっていいのではないか？

事務局：気候などの影響もあるが現場で収録というのはよくやっている。例えば清水委員のおっしゃられた前浜町の元漁師の方には数年前にお宅にお邪魔して収

録をさせてもらった。また先ほど弊社社長から話があったFMウォークの簡易版のように実際歩きながら遺跡や文化財を巡ったこともあった。今までで印象に残っているのは年内最後の回で西宮市内のお寺を回って鐘の音を集めて放送したこと。戦争で鐘を供出したままのお寺もあって市内全部とはいかなかったが、ご住職のお話と鐘の音を放送した。トークだけでなく市内の音も入っていて良い雰囲気番組になったと思っている。

委員：清水委員がよくおっしゃる「イメージさせる」というのがこの番組はよく出来ていると思う。前田さんが形などを分かり易く説明していた。

委員：毎回ここ（郷土資料館）の研究紀要を貰っている。沢山の聞き取り調査をされているのでこれが文字だけでなく声でも残せたらいいという思いがあった。ここの研究員は細かいところまで調査されている。

社長：昨日のFMウォークでもつくづく感じた。すごく勉強されているし、スタジオの合田館長の話を聴いていてもチームワークもすばらしい。

委員長：郷土資料館は最近行ってないが、いつ行っても殺風景な気がする。こういう地域の研究をされているなら例えばその場で「その声」を聴けるようになっていれればいいと思う。

委員：郷土資料館は収蔵庫に入りきれないくらいの資料を持っている。自宅に古いものが沢山あったので寄贈したが大きいものは保管できないのでと断られた。手狭になっているのではないか。

委員：公民館の活動推進委員をやらせてもらって合田館長にはお世話になった。地域の歴史散歩で助けてもらったが全10回ほど盛り沢山で良かった。

社長：合田館長は大変深みのある方。定年退職されたら前田さんの後継者としてこの番組をお願いできたらと思う。

委員：すごく良い番組だと思う。大人ばかりで楽しんでないで子供も巻き込んで欲しい。小学生・中学生は総合学習の時間に地域の歴史を探るときに非常に参考になる番組と思う。市役所のホームページで聴けるというのをどれだけの人が知っているのか？もっと活用できるようにできればと思う。情報源としてソフトに面白く聴ける。

委員：学校で地域の歴史をどのように扱っているのか？

委員：4年生が地域を巡っている。

委員：小学校4~5年生の頃に自分の住んでいる町の名前の由来を調べたりとか。そういう時間に活用して欲しいし、もっと知って欲しい番組と思う。多分今の子供たちは西宮で漁が行われていた事は知らない。

委員：泉町に住んでいたことがあるが、埋め立てる前（西宮浜を）は子ども会が青年会と一緒に地引網をしていた。埋め立ててしまったからもうやってないかもしれない。他に貝採りもしたり。

委員：甲子園浜でも戦後、しばらくはやっていたようだ。また、甲子園浜の埋め立て問題が起きたとき、地元の考える会が子供らと地引き網をしたことがあったように思う。

委員長：昔はあの浜に鯛を干していりこを作っていた。

委員：西波止の浜小屋にはいくつか漁船が残っていたが。

社長：何年くらい前になくなったか・・・。

委員：本学（武庫川女子大学）の付属中学校も理科の部活などで浜の方に行く子もいるが、全体としては殆ど知らない。市外から通う子も居るので西宮市が海に面している事すらも知らない子もいる。

委員：番組を聴き終った後取材先の具体的な説明は入るのか？

事務局：今回は郷土資料館の説明よりは近々のイベント（FMウォーク）のお報せになったので施設の説明は入っていないが、普段はアクセスなどを歩きながら説明している。

委員：他府県から西宮に来る方もいると思うのでそういう方が聴いた時に何処にあるのか分かるようにするといいと思う。落とし所としてそこに来る人が増えるといい。時間帯とか季節とか、例えば「この季節に行くといい」とか。

社長：前田さんも番組冒頭で雰囲気を変えながら何処に居るかは言われているのだが、小林委員の言われるように締めにもあればと思う。

委員：いい番組と思うが、広がりをもたせようか大変難しいと思っている。好きな人は絶対に好きな番組。例えば高校などに地理部などはないのだろうか？

委員：地歴部というのはあるのではないかな？

委員：内容的に面白いし興味深い。前田さんのご奮闘には敬意を表したいし、長寿番組として素晴らしいと思う。ただ、欲を言えば、番組に何か華があれば、もっと良いと思う。好きな人は楽しみにしているのだけれど、関心のない人にはなかなか耳に残りにくい。若い人の声が欲しいように思う。例えば再放送を夜にやってみるとか、月1回でいいから高校生などが参加するとか。そうすれば若い人たちにも関心を持ってもらえるのではないかな。さくらFMさんの余裕がある時で結構なので、中学校や高校生に協力していただけるような仕掛けをお願いしたい。

委員：話が逸れるかも知れないがさくらFMでやっている大学生の番組。放送部の子で知り合いが居るので聞いてみたら、(担当ディレクターが)お忙しいのでどうしても毎回同じ企画になってしまっている、本当はいろいろやってみたいとの事。大学生に「こういう番組もやっている」のような宿題を投げてもらおうと考えると思う。

委員：月1回でもいい。それだけで聴く人の耳に留まる気がする。

社長：設楽委員の子どもを巻き込むという話、先ほどFMウォークの話も参加者は

若い人よりは時間に余裕がある上の世代が多い。また最近開通したJR福知山線の廃線敷も整備したことで地元の人からは「これで子ども達が来れるようになった」と喜んでいて。そういう意味での新陳代謝も必要と感じている。このところ審議会の議論も多岐に渡るようになってきた。全てを直ぐには出来ないが頭には置いている。スタッフの数とか力量とかもあるが「高見を目指せ」と捉えている。

委員：リスナーをどこに照準を合わせるのかという話にもなる。放送時間は日曜の朝8:00でその後に西宮市生涯学習大学の番組が入っている。となるとここを聴く年代も決まってくる。番組の位置づけも変わってくる。

事務局：最近歴史ブームでブラタモリのような番組も人気。ラジオでそのジャンルの番組と思って制作している。若い人にも聴いてもらえる番組かと思っている。

議長は委員にその他特に意見がない旨を確認し、本日の審議会を終了し閉会する旨を述べる。

社長は審議会で意見を頂いた事への謝意を述べ、閉会にあたって挨拶を行った。次回審議会は平成29年1月20日午前10時と決定し、議長は午後5時30分に審議会閉会を宣した。議事の経過を明確にするため、議事録を作成し委員長及び出席委員の記名押印をする。

7. 審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表の内容、方法  
近畿総合通信局への提出が完了次第「さくらFM」のホームページ（URL <http://sakura-fm.co.jp/>）

平成28年12月5日  
さくらFM株式会社